

科目名 精神看護援助論Ⅲ	配当時期 2 年次後期	講義担当者	
時間割表記名 精神看護援助論Ⅲ	単位数 1 単位	高木 雅弘	
	時間数 15 時間(8 回)	(実務経験のある教員)	
事前学習内容			
基礎看護技術(コミュニケーション)で学んだ知識を想起し、プロセスレコードを活用できるよう準備しておく。 精神看護学概論、精神看護援助論Ⅰ・Ⅱで学んだ知識を想起し、活用できるよう準備しておく。			
授業目標			
1. プロセスレコードを活用し、患者－看護師関係についてアセスメントできる。 2. 精神障害に特徴的な症例の看護過程展開を通して、対象に必要な看護を明らかにすることができる。			
DPとの関連			
DP1. 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的・霊的に統合された生活者として理解することができる。 DP2. 一人ひとりの健康状態に応じて、最善の看護を選択し、科学的根拠に基づいた看護を実践できる。 DP3. 一人ひとりの多様な価値観や人権を尊重し、倫理観に基づいて看護を実践できる。 DP5. 自己を理解し、他者を尊重したうえで、人間関係を構築することができる。			
授業の流れ			
回	学習内容	方法	備考
1	1. 精神科看護におけるセルフケア理論	講義	テキスト①②③
2	1)オレムアンダーウッドモデル		
3	2. 統合失調症で幻覚妄想のある対象の事例展開	グループワーク DVD 視聴	
4	1)統合失調症で医療保護入院をした患者のアセスメント (1)症状や治療によるセルフケアへの影響		
5	2)看護問題の明確化 セルフケアへの影響による看護問題の明確化・優先順位の根拠	グループワーク	
6	3)介入計画の立案 4)統合失調症で幻覚妄想のある対象に必要な看護 (1)退院後の生活を見据えた患者・家族への個別性のある看護	グループワーク	
7	3. 患者－看護師関係の構築	講義 グループワーク * 第 8 回は 45 分	テキスト③
8	1)ヒルデガード＝E＝ペプロウの人間関係の看護論 2)患者－看護師関係を理解するための手がかり 統合失調症で幻覚妄想のある対象との関係構築 3)精神障害をもつ人との関係の振り返り プロセスレコードの検討		
受講上の注意 ○課題レポートはルーブリックを示して評価する。			評価方法 レポート
使用するテキスト			

- 1) 系統看護学講座 専門分野 精神看護学[1] 精神看護の基礎 医学書院
- 2) 系統看護学講座 専門分野 精神看護学[2] 精神看護の展開 医学書院
- 3) 新体系 看護学全書 精神看護学② 精神障害をもつ人の看護 メジカルフレンド社

参考文献

- ① 系統看護学講座 別巻 精神保健福祉 医学書院